

大会注意事項

1. 大会日程

	1月9日(土)	1月10日(日)	1月16日(土)
種目	男子シングルスのみ実施 ・No.1~No.32 受付：8:15~8:45 ・No.33~No.64 受付：9:00~9:30	男子シングルス残り 受付：前日に発表 女子シングルス 受付：8:15~8:45	(予備日)

※新型コロナウイルス感染防止の観点により、上記の日程で行います。
8ゲームスマッチ・ノーアドバンテージ方式（8-8 タイブレーク）

2. 試合方法

3. 受付

プレーできる服装になって、上表受付時間内に大会本部に出席を届けること。その際、関東ジュニア登録証、感染拡大防止協力書をご持参ください。大会会場に入場できるのは選手と選手1名につき保護者1名とします。指導者は1団体1名を可とします。
※選手と保護者の方、二人そろって済ませてください。IDをお渡しします。

4. 服装

JTAルールに準じます。

5. 試合進行

試合の進行は、「オーダーオブプレー」によって行われますので、本部の掲示に注意してください。
控えに入ったら、本部で記録用紙か試合球を受け取り、試合コートの近くで待機してください。
前の試合が終わったら速やかにコートに入り、トスをしてウォーミングアップを始めてください。15分以内にコートに入らない場合は「失格」となります。

6. 使用球

ダンロップ・スリクソン（大会本部で用意します。）

7. ウォーミングアップ

サーブ各4本ずつです。ラリーはできません。

8. 審判

全試合セルフジャッジです。サーバーは、ポイントおよびゲームカウントを相手にはっきりと聞こえるように大きな声でコールすること。

9. ルール・マナー

JTAルールに準じます。試合中、どんなアドバイスも受けてはなりません。これを守らなかったプレーヤーや、コーチした人は「失格」「退場」となる場合があります。「テニスルールブック・2020」等をよく読んで理解しておきましょう。（コート内では携帯電話の電源は必ず切ること。）
試合中トラブルが起きた場合は、選手はレフェリー（または「レフ・アパイ」）を呼び、問題の解決を求めることができます。

10. 結果報告

試合終了後は、両者そろってボール、スコアカード（結果）、バインダーを本部に届けること。

11. シード順位

シードについては、2020年11月27日発表の最新関東ジュニアランキングを参考にし、ジュニア委員会ドロー会議（12月4日）で決定しました。

12. 降雪対応

試合前日(8日)雪が降っており、9日も大雪の予報で、会場が使用不能と見込まれる場合のみ、前日8日午後6時に参加各クラブあてに連絡メールを配信します。
但し、この配信は降雪による極端な悪天候の場合のみの緊急対策です。
過去には、午前中「雪かき」をして午後から「試合」を実施したときがありました。また、第1日目に「受付」「雪かき」だけをして、第2日目から試合を実施した年もあります。
（降雪のため集合しなかったことは、過去ありません。）
選手が勝手な自己判断をしないように注意してください。

13. 大会欠場届

やむを得ない事情で大会を欠場する場合には、関東テニス協会の規定により、大会欠場届（最終ページ参照）を1月8日午後3時までにFAXしてください。
なお、不出場による参加費の返金はできません。

FAX送信先 029-892-3957 (ジュニア委員 大滝あて)

大会欠場届

年 月 日

大会名
MUFJジュニアテニストーナメント2021 茨城県大会

アシスタントディレクター 大滝 慶人 宛

出場種目 16歳以下(男子・女子)シングルス

ドロ－番号

名前

所属団体

個人登録番号

住所

電話番号

下記理由により大会を欠場いたします。

1. 体調不良により(具体的に記入)

2. 学校行事により(具体的に記入)

3. 他の大会に出場(大会名)

※この場合、欠場届け提出期限は全て大会要項の日程が基準になります

4. その他(具体的に記入)

ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

 公益財団法人日本テニス協会

テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

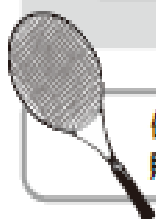
そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。



セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）!
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の方は、セルフジャッジへの口出しはしない!



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。